FLAME SEARCH M

設定・操作マニュアル

作成：2025/9/30

ANTEC

目次

はじめに 2
動作推奨スペック 2
ソフトウェアの特徴 2
パソコンのセットアップ 3
デバイスの接続 3
配布フォルダのコピー 4
パソコンのネットワーク設定 4
ドライバのインストール 7
ドライバの追加 11
IO デバイスの登録 16
ソフトウェア Flame Search M の初回起動 20
ソフトウェアの操作 24
基本画面 24
タイマーについて 24
センサー情報の登録およびシンボルの設定方法 25
エリア表示について 26
ログについて 26
デバイスの操作 26
設定画面 27
一般 27
自動 RUN 28
エリアとマップ 29
メール 30
SMS 31
アウトプット 32
推奨設定 33
Windows アカウント 33
電源管理 33
セキュリティ管理 33
Windows Update の管理 33
自動再起動の設定 33
ソフトウェアの自動起動 33
その他 33

はじめに

本ソフトウェアはセンサー96ch センサー集約器 SKH1080 専用に開発されています。
目的の使用用途以外で発生した故障・不具合・トラブルについては一切の責任を負いかねます。
また、環境依存による故障・不具合・トラブル（パソコンや配線の不具合など）ついても補償致しかねますのでご了承ください。

動作推奨スペック

OS	Windows 11 Pro
メモリ	16GB 以上
ネットワーク	Wi-Fi および LAN ポート
ディスプレイ	1920×1080

※Windows 11 Home エディションでも動作可能です。
※上記解像度より高いディスプレイを使用する場合は、Windows のディスプレイ設定から拡大/縮小でソフトウェア画面を調整してください

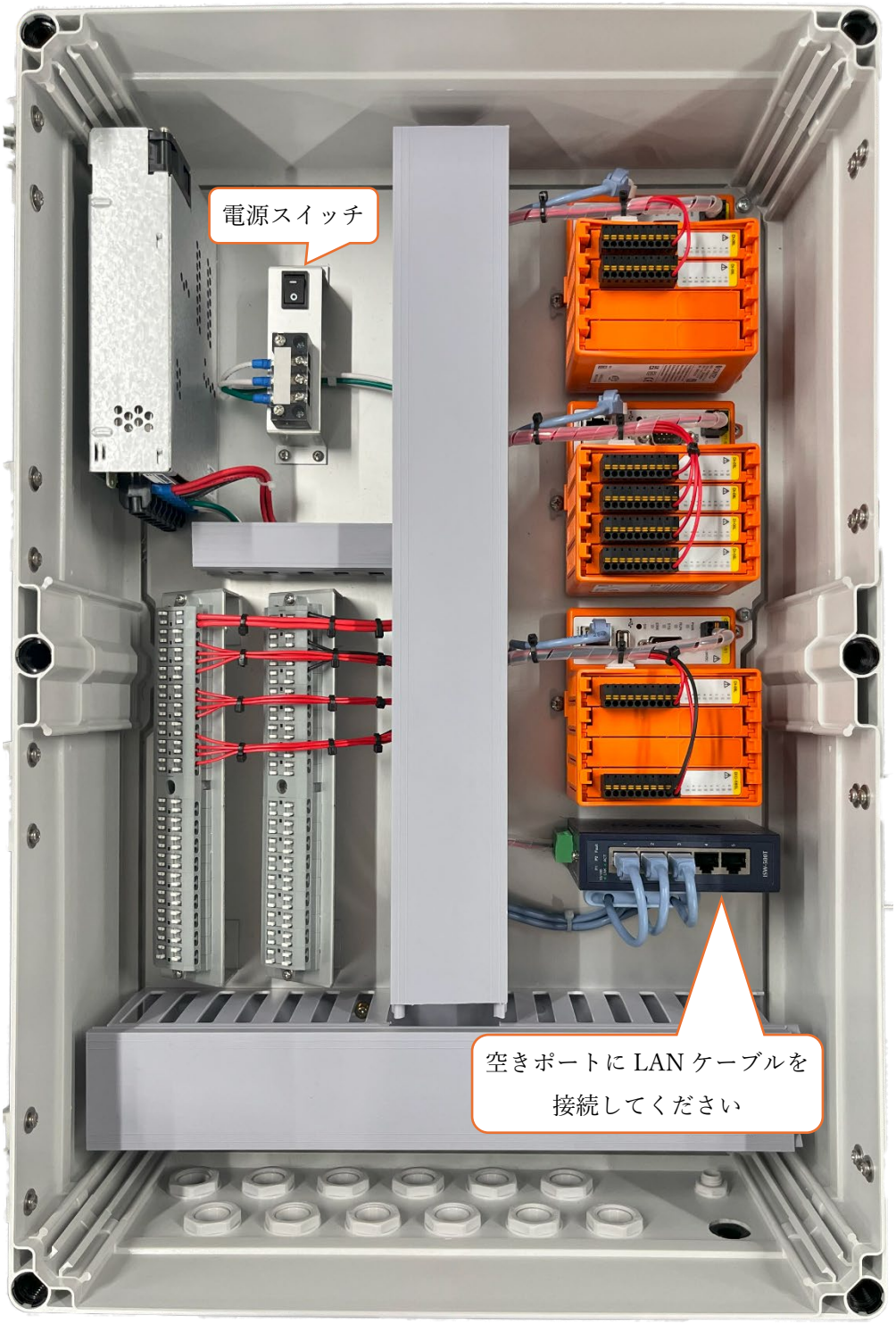
ソフトウェアの特徴

・センサーの作動状況をパソコン上でリアルタイム監視します。
・センサー作動時はセンサーシンボルの点滅およびパソコンからの警報音でお知らせします。
・監視のタイミングを曜日/時間ごとで最大 3 件までスケジューリングできます。
・センサー作動と同時にメール/SMS を自動で送信します。（最大 3 件までスケジューリング可能）
・監視エリアを複数設定することで、エリアごとの監視が可能です。
・自動ログ機能により、センサーの作動状況を全て記録します。
・誤報の際はログ内容を当社へ送信することで、誤報の対策にも役立てます。

パソコンのセットアップ

デバイスの接続

SKH1080 とパソコンを LAN ケーブルで接続してください。
SKH1080 の電源を投入してください。



SKH1080 本体

配布フォルダのコピー

付属の USB メモリをパソコンに挿入し、メモリ内にある【配布フォルダ】をパソコンの任意場所にコピーしてください。

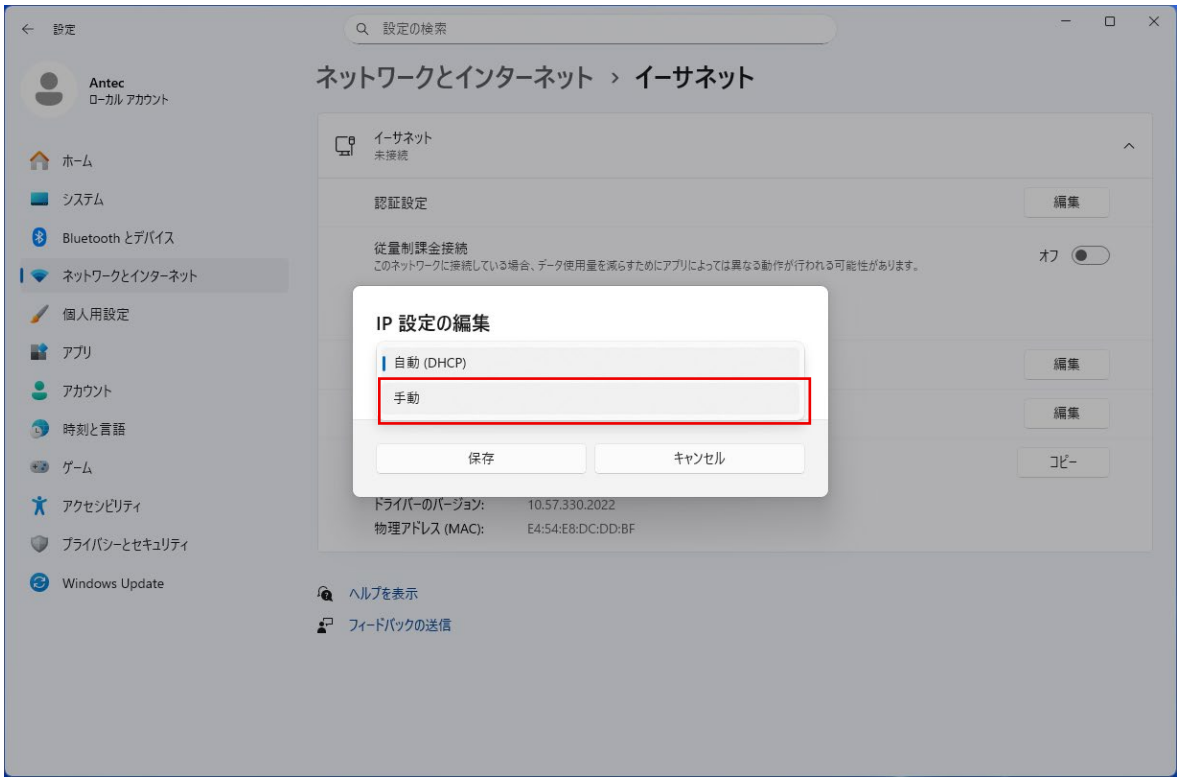
パソコンのネットワーク設定

パソコンの IP アドレスを固定します。以下の手順に従って設定してください。

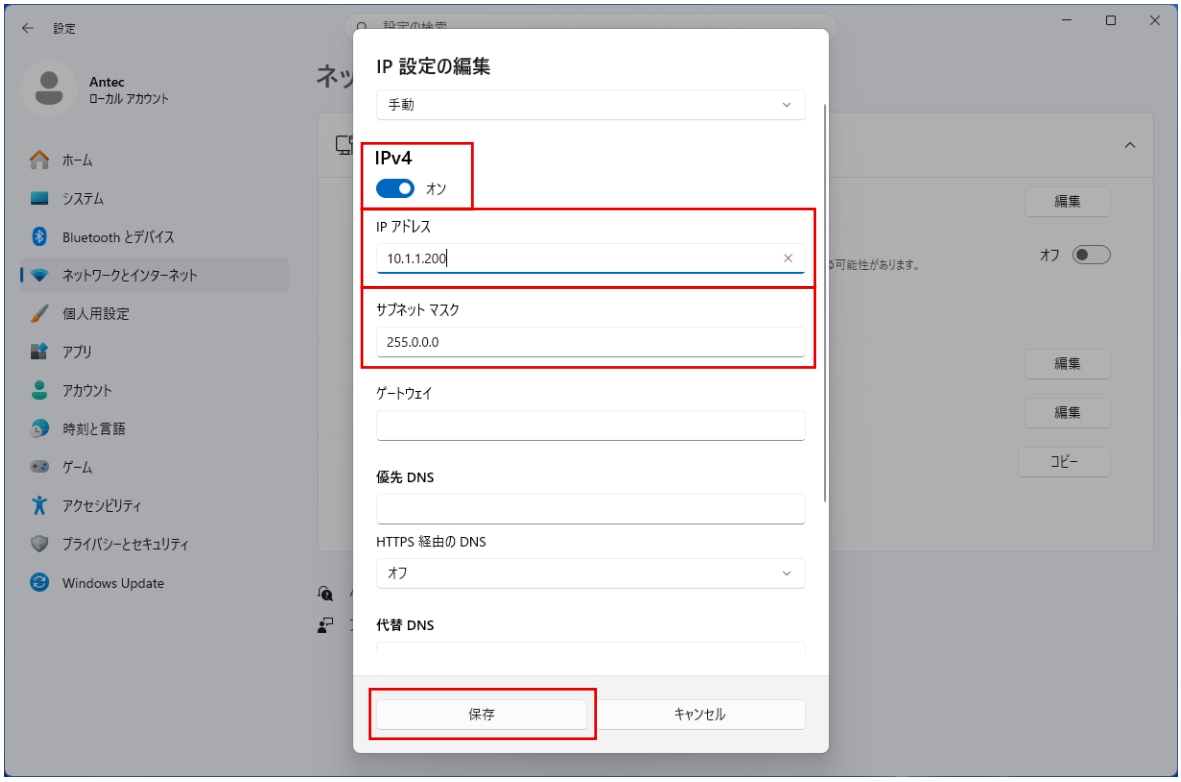
Windows の設定画面を開いてください。
サイドバーから【ネットワークとインターネット】→【イーサネット】をクリックしてください。

IP 割り当て：の【編集】をクリックしてください。

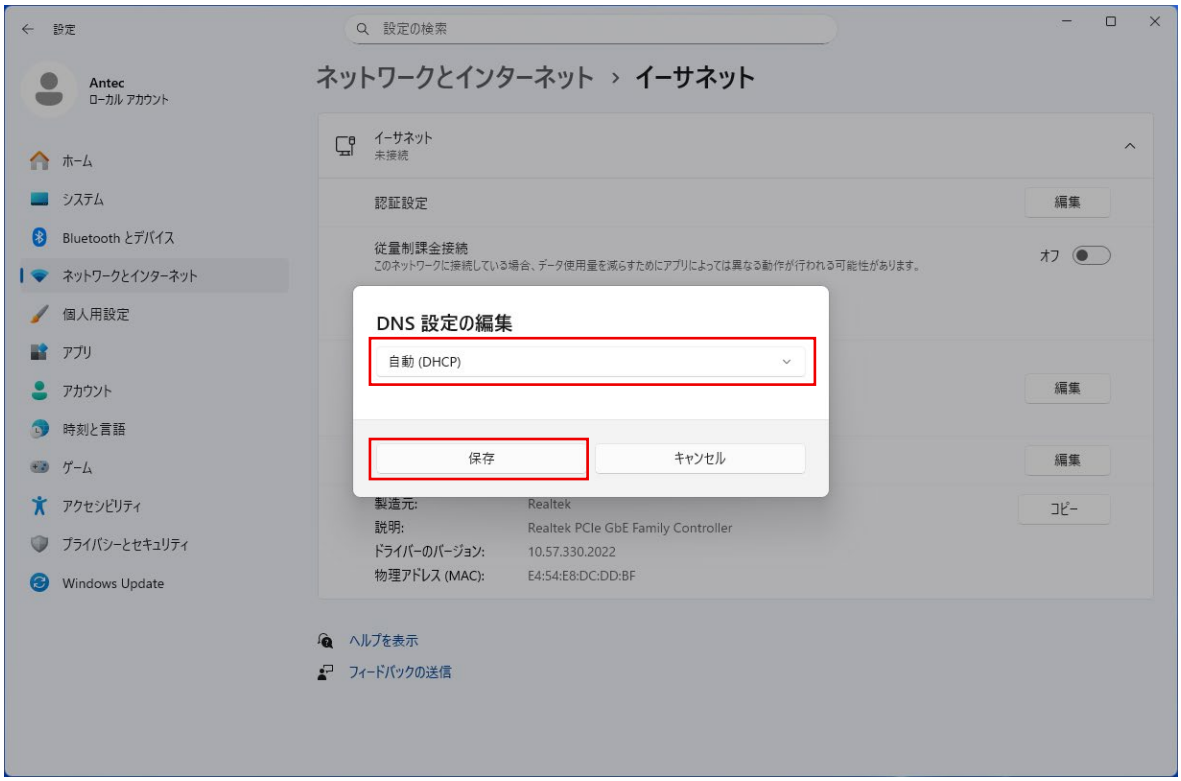
IP 設定の編集で【自動（DHCP)】から【手動】に変更してください。



IPv4 をオン、IP アドレスに 10.1.1.200、サブネットマスクに 255.0.0.0 を入力し保存してください。



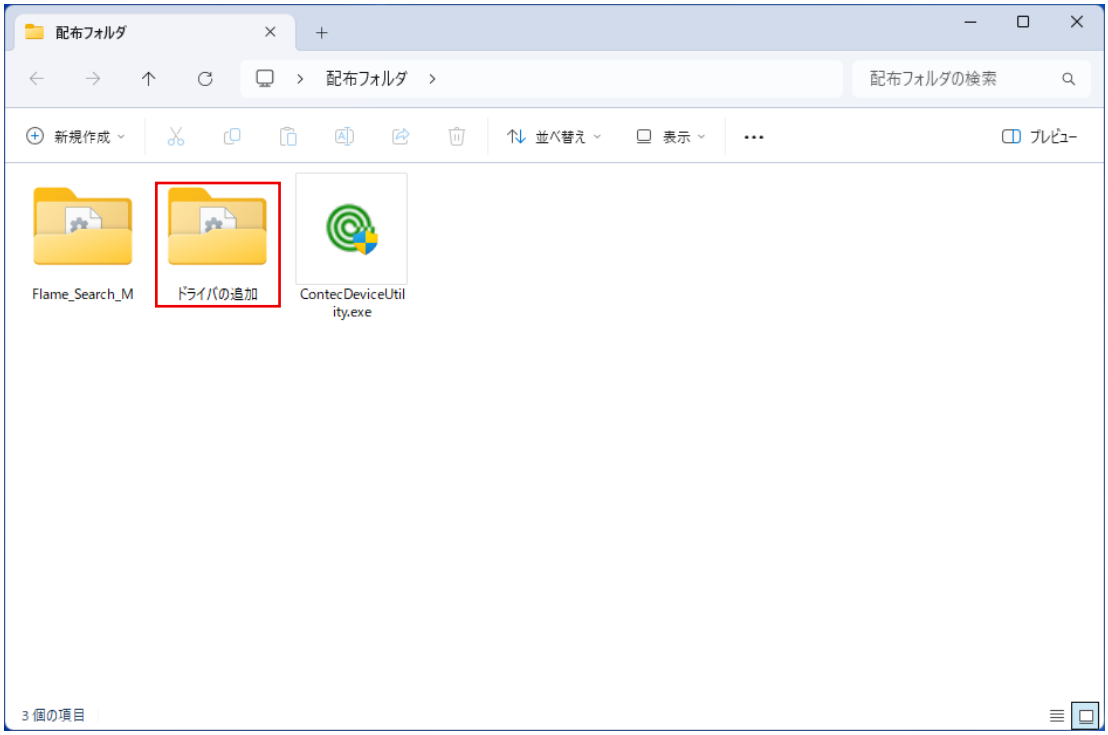
DNS サーバーの割り当て：の【編集】をクリックして【自動（DHCP)】を選択し保存してください。



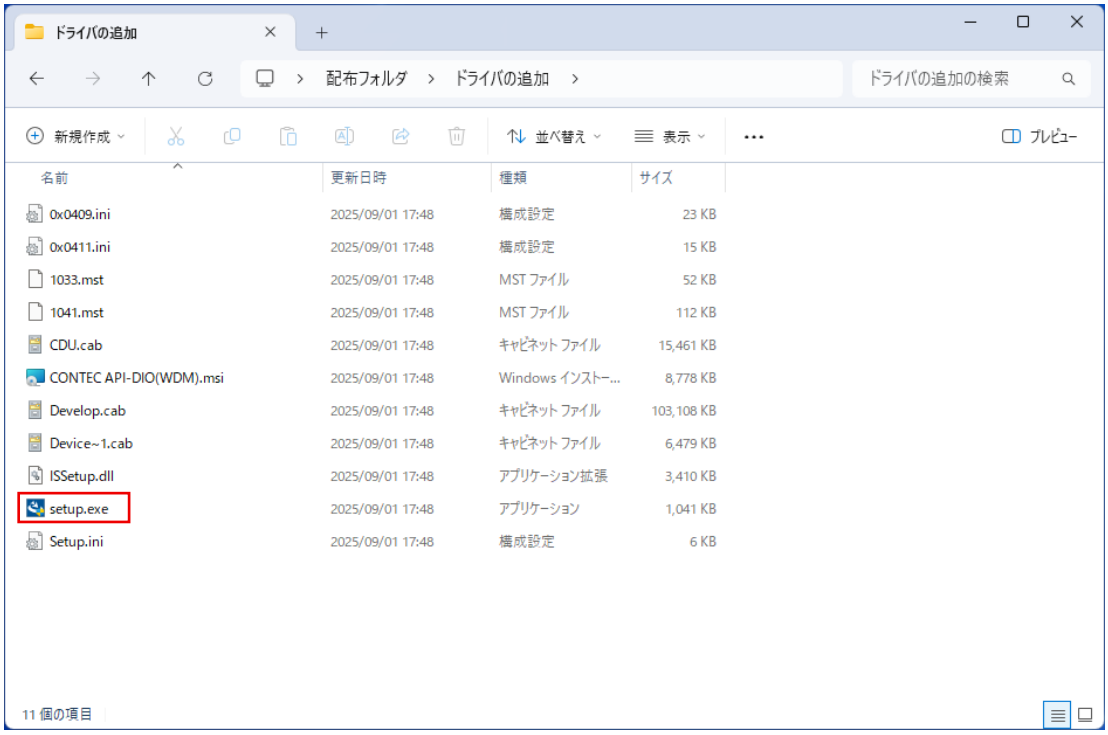
以上でネットワークの設定は終了です。

ドライバのインストール

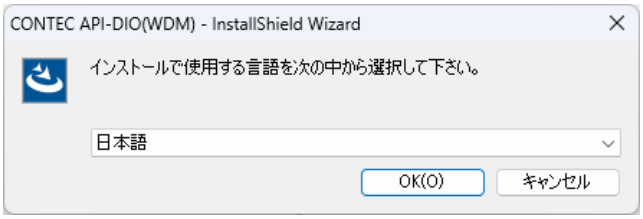
配布フォルダから【ドライバの追加】を開いてください。



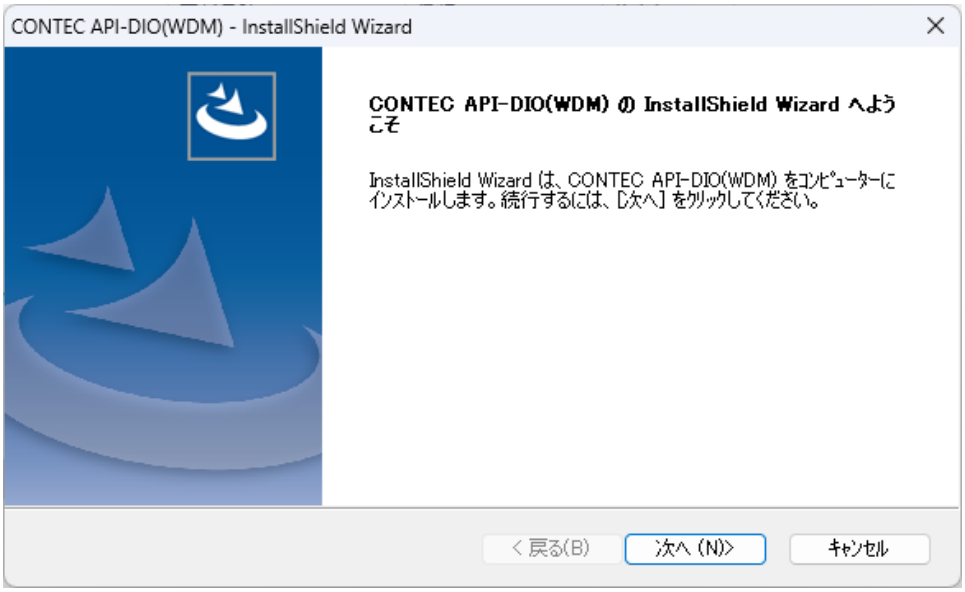
【Setup.exe】をダブルクリックしてください。



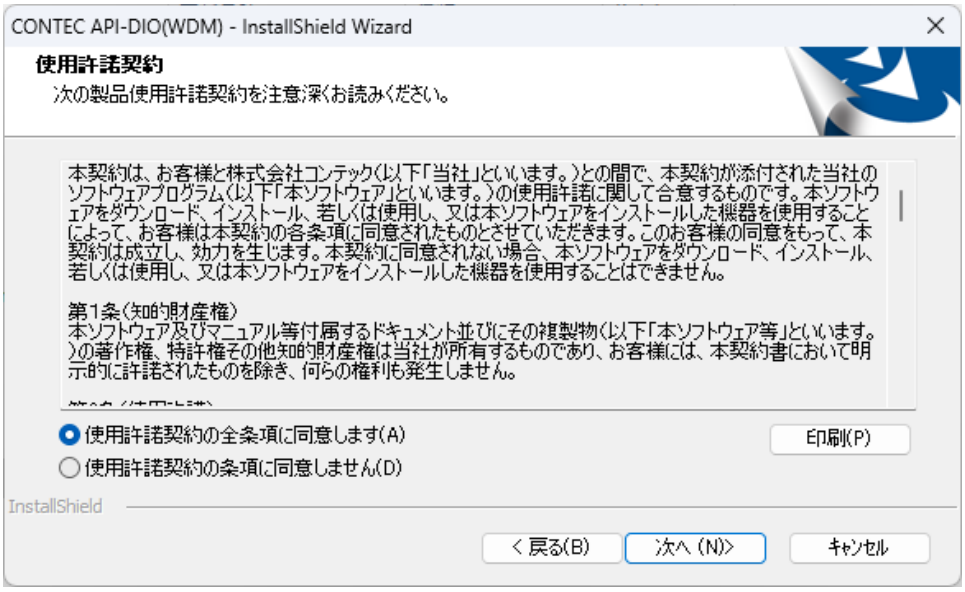
言語を選択して【OK】をクリックしてください。



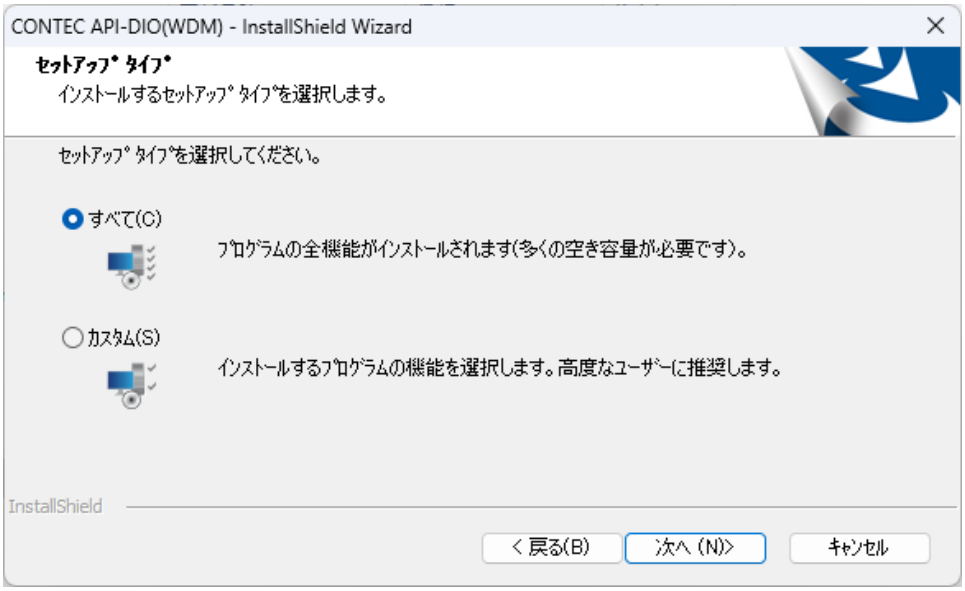
【次へ】をクリックしてください。



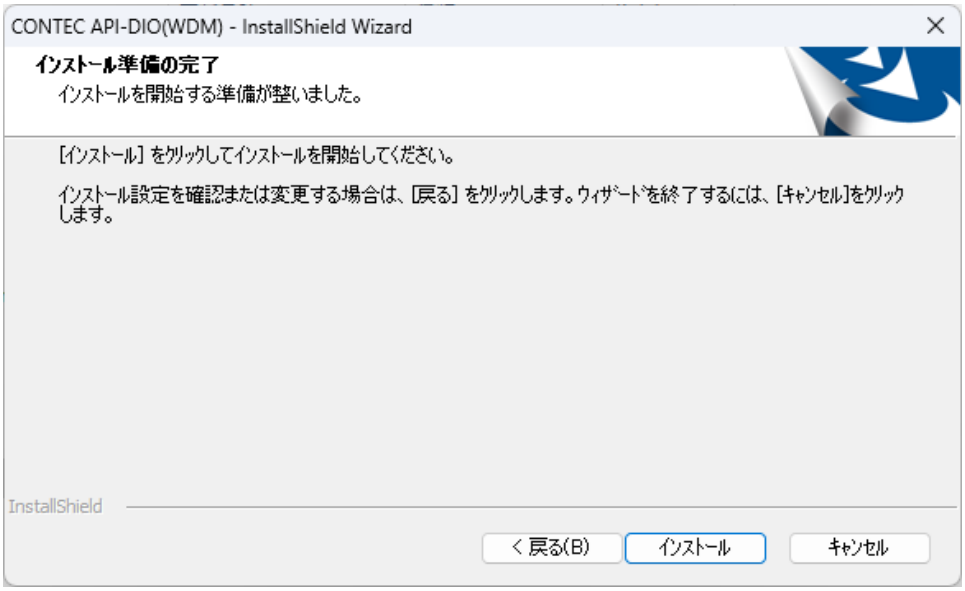
【同意します】を選択して【次へ】をクリックしてください。



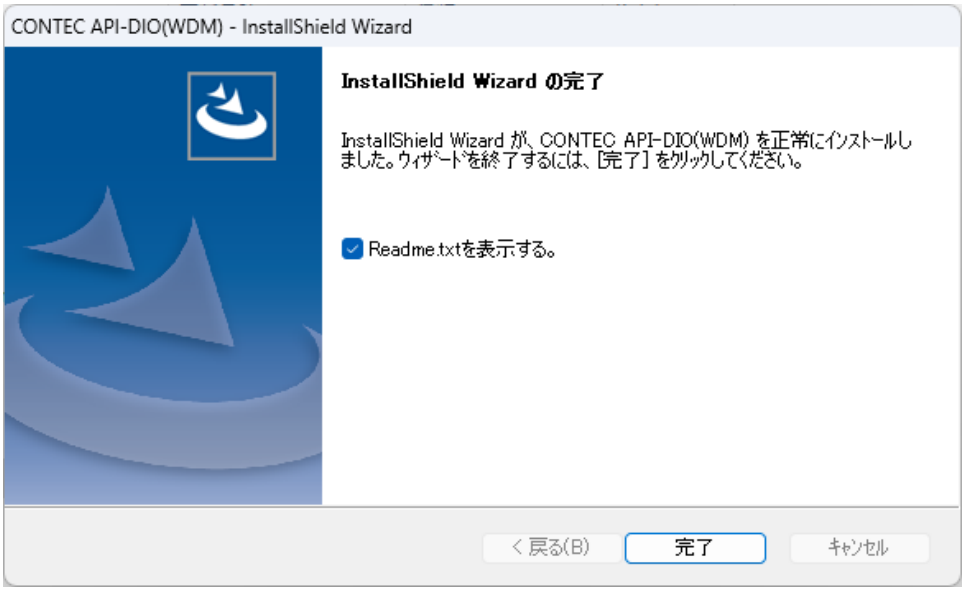
【すべて】を選択して【次へ】をクリックしてください。



【インストール】をクリックしてください。



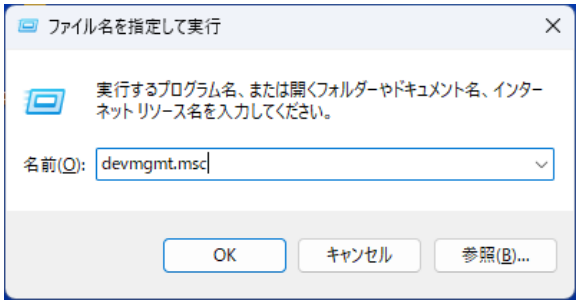
【完了】をクリックしてください。



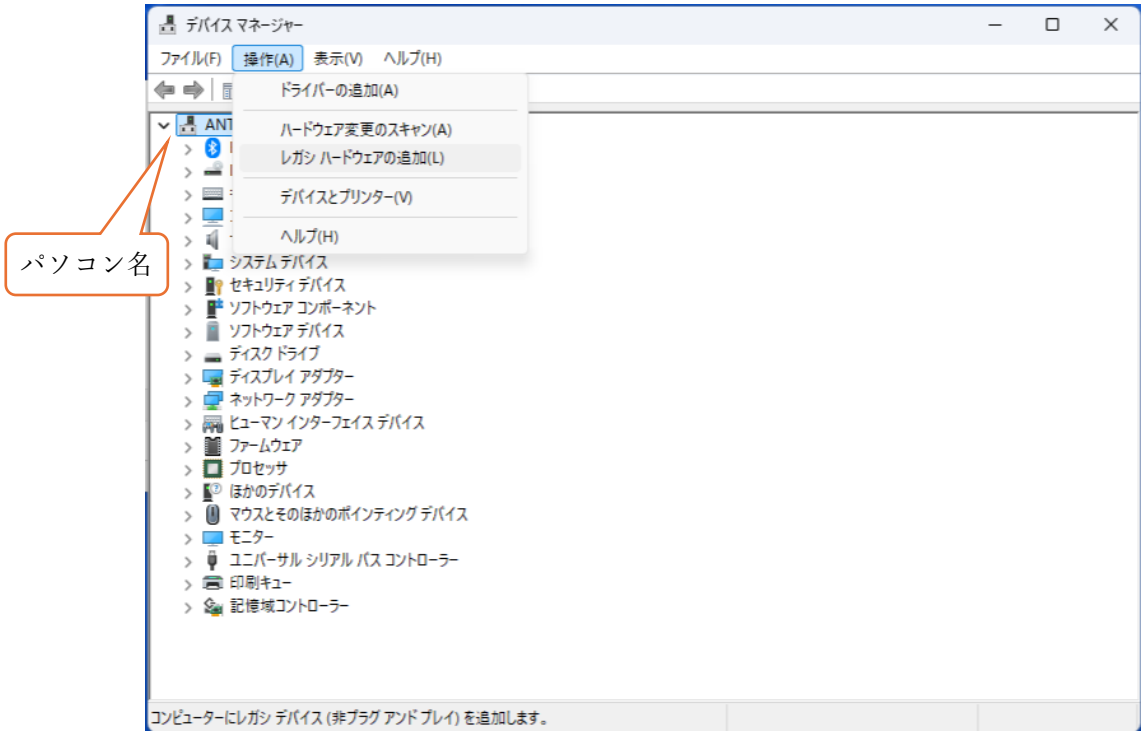
以上でドライバのインストールは終了です。

ドライバの追加

キーボードの【Windows キー】+【R キー】を同時に押して【ファイル名を指定して実行】を開き、名前に【devmgmt.msc】を入力して【OK】をクリックしてください。

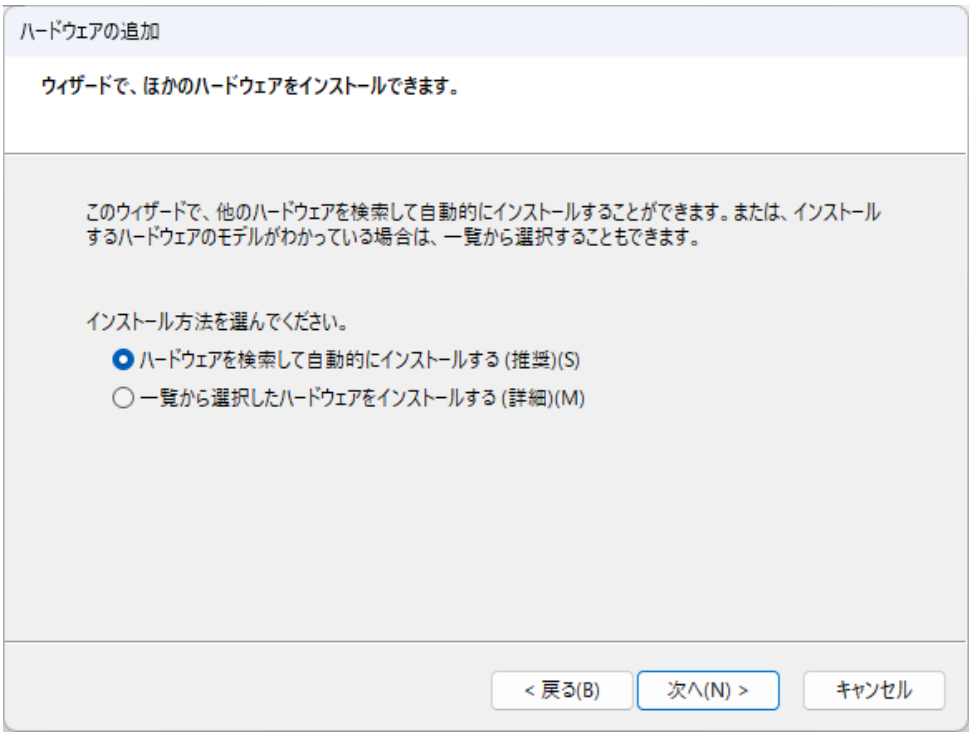


デバイスマネージャから【パソコン名】→【操作】→【レガシハードウェアの追加】の順でクリックしてください。

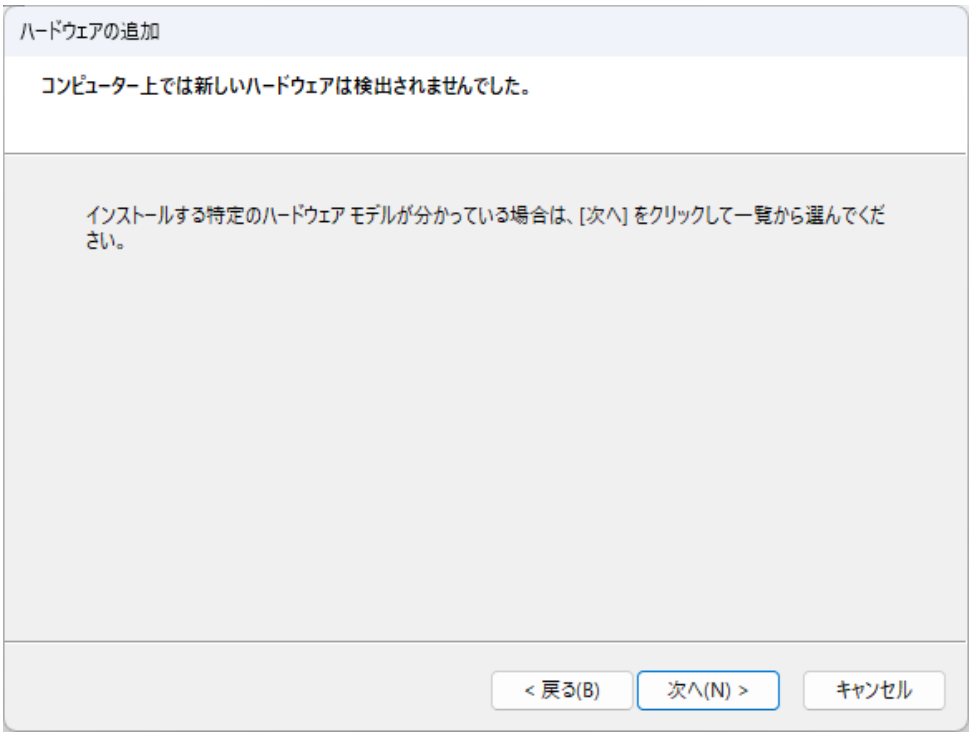


【次へ】をクリックしてください。

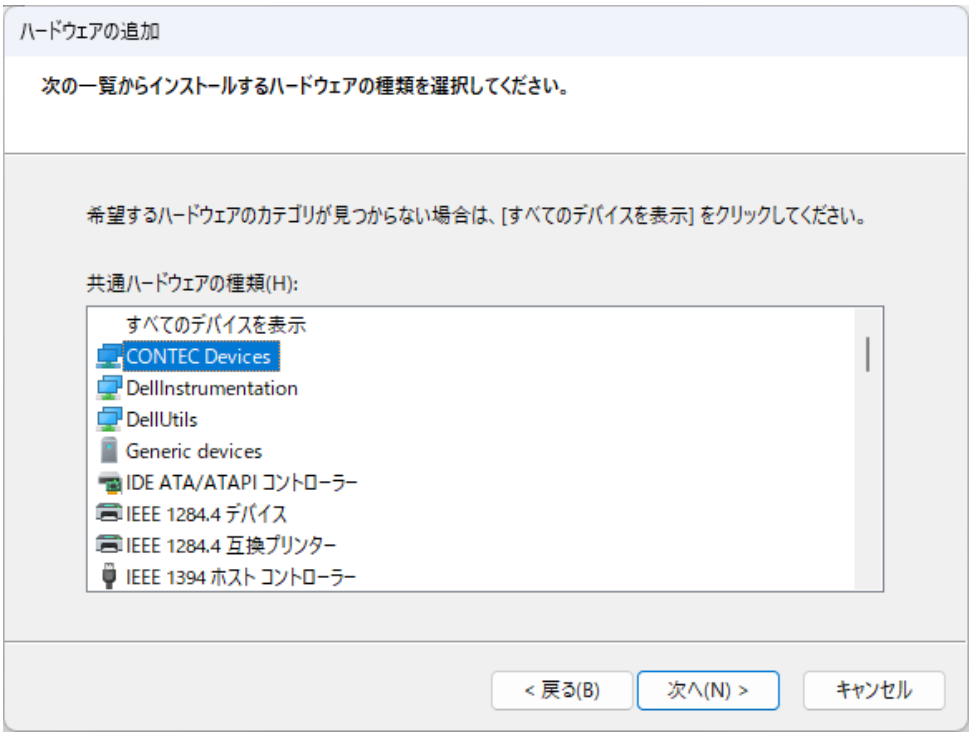
【自動的にインストール】を選択して【次へ】をクリックしてください。



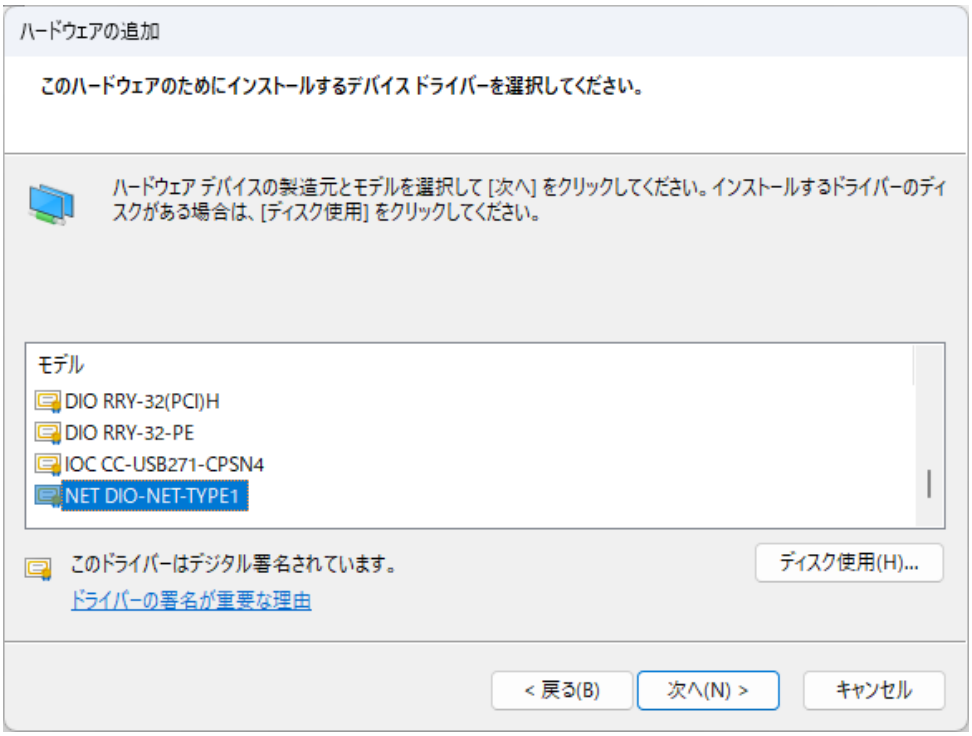
【次へ】をクリックしてください。



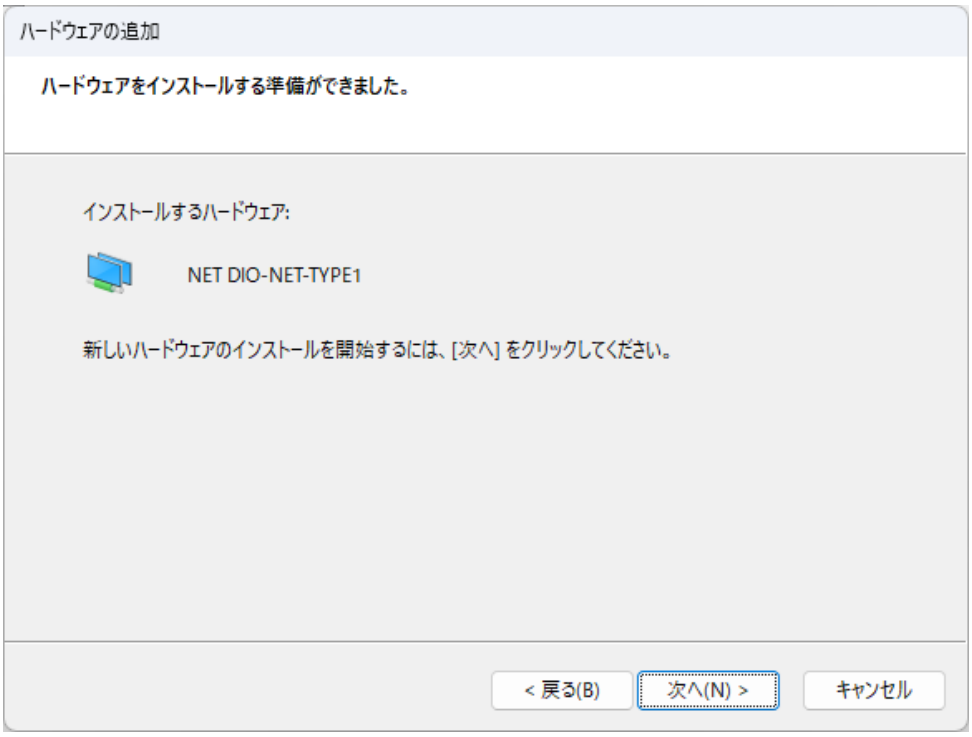
リストから【CONTEC Devices】を選択して【次へ】をクリックしてください。



リストを下にスクロールして【NET DIO-NET-TYPE1】を選択して【次へ】をクリックしてください。



【次へ】をクリックしてください。

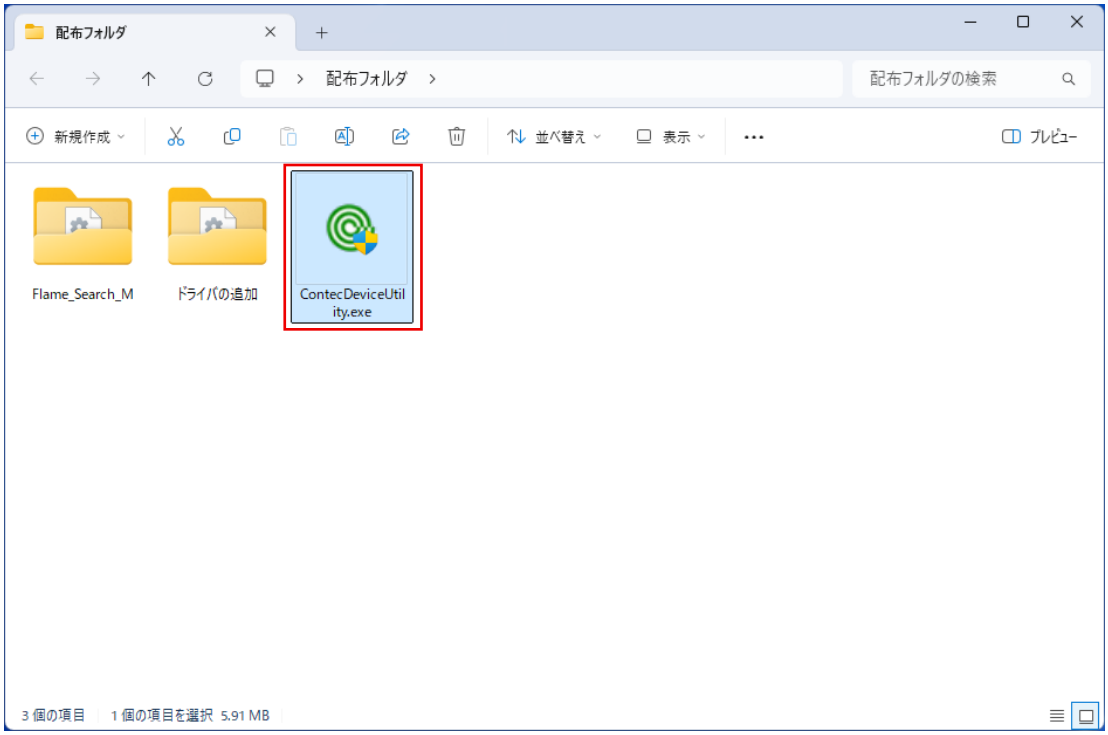


【完了】をクリックしてください。

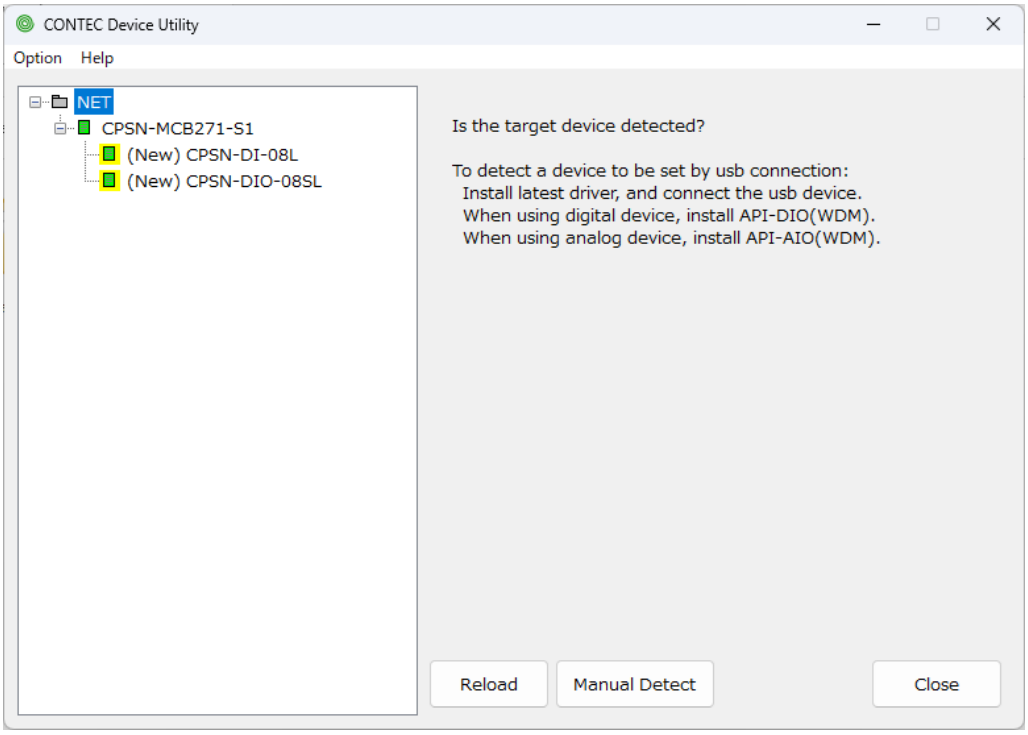
以上でドライバの追加は終了です。

IO デバイスの登録

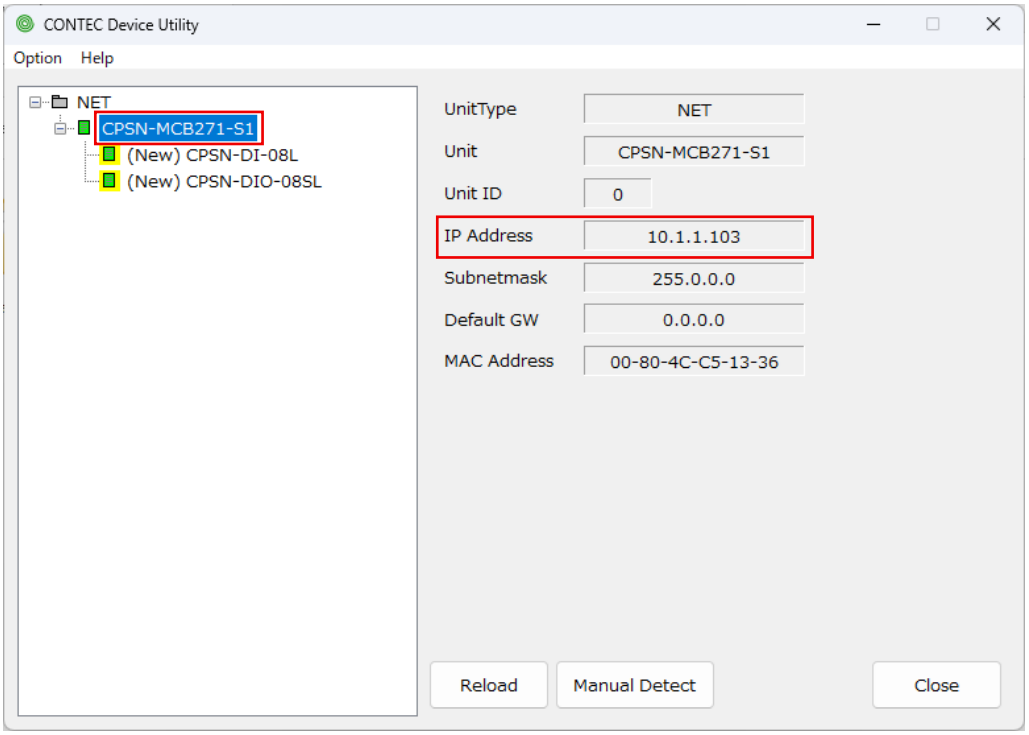
配布フォルダから【ContecDeviceUtility.exe】をダブルクリックしてください。



接続されいる IO デバイスが表示されます。



NET 直下のデバイス名をクリックするとデバイスの IP アドレスが表示されます。



インプットデバイスを登録します。
インプットデバイス　：CPSN-DI-08L

IP アドレスの若い順、Device ID の若い順から下記の通りに【Device Name】を入力してください。
各 Device Name 登録ごとに【Save】をクリックしてください。

【登録の順番】

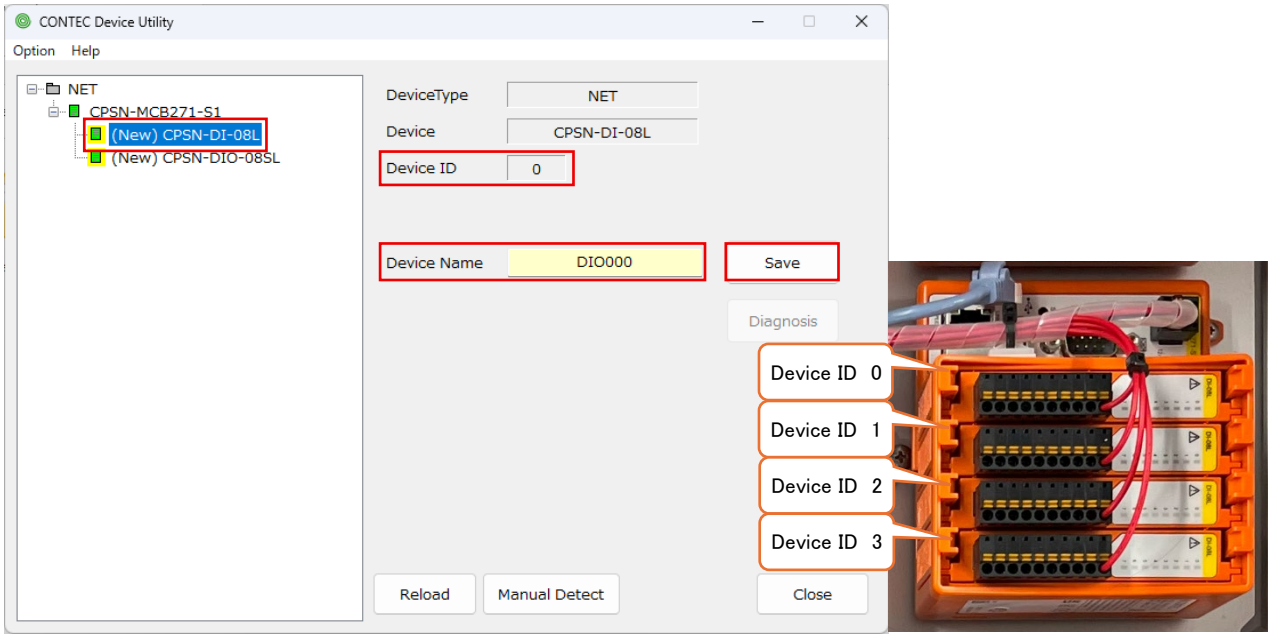
IP アドレス：10.1.1.101

Device ID：0　　Device Name：**DEVICE_NO0**
Device ID：1　　Device Name：**DEVICE_NO1**
Device ID：2　　Device Name：**DEVICE_NO2**
Device ID：3　　Device Name：**DEVICE_NO3**

IP アドレス：10.1.1.102

Device ID：0　　Device Name：**DEVICE_NO4**
Device ID：1　　Device Name：**DEVICE_NO5**
Device ID：2　　Device Name：**DEVICE_NO6**
Device ID：3　　Device Name：**DEVICE_NO7**

・
・
・



※アウトプットデバイスを利用している場合のみ操作してください。
アウトプットデバイスを登録します。
アウトプットデバイス：CPSN-DIO-08SL

IP アドレスの若い順、Device ID の若い順から下記の通りに【Device Name】を入力してください。
各 Device Name 登録ごとに【Save】をクリックしてください。

【登録の順番】

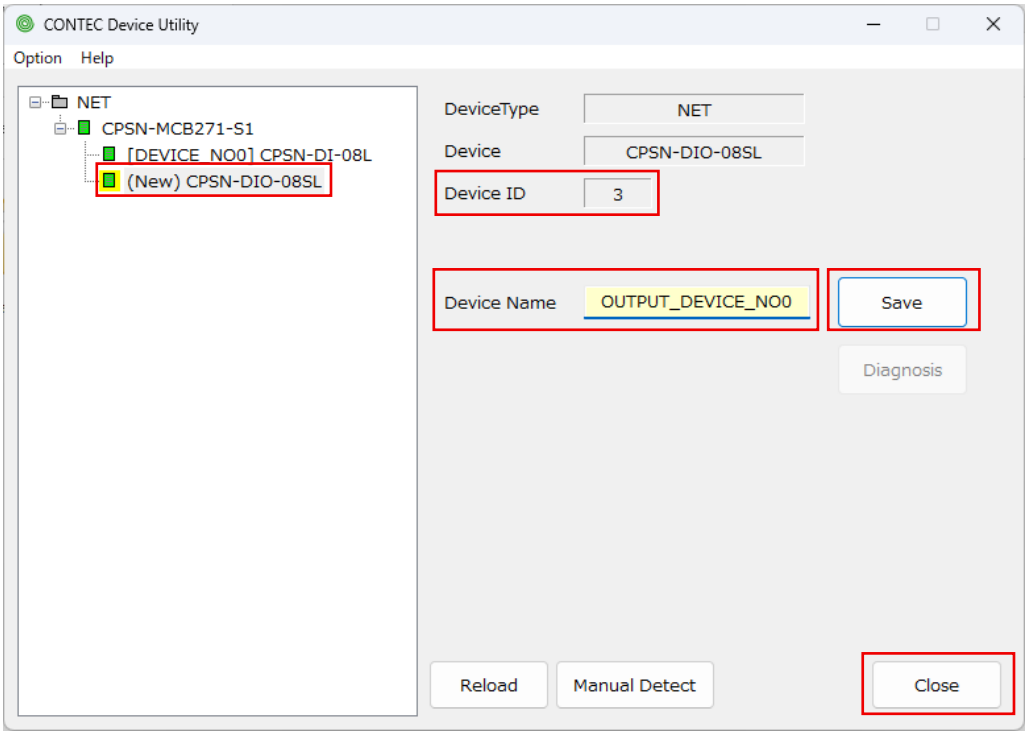
IP アドレス：10.1.1.10○

Device ID：○　　Device Name：**OUTPUT_DEVICE_NO0**
Device ID：□　　Device Name：**OUTPUT_DEVICE_NO1**
Device ID：◇　　Device Name：**OUTPUT_DEVICE_NO2**
Device ID：×　　Device Name：**OUTPUT_DEVICE_NO3**

IP アドレス：10.1.1.10□

Device ID：○　　Device Name：**OUTPUT_DEVICE_NO4**
Device ID：□　　Device Name：**OUTPUT_DEVICE_NO5**
Device ID：◇　　Device Name：**OUTPUT_DEVICE_NO6**
Device ID：×　　Device Name：**OUTPUT_DEVICE_NO7**

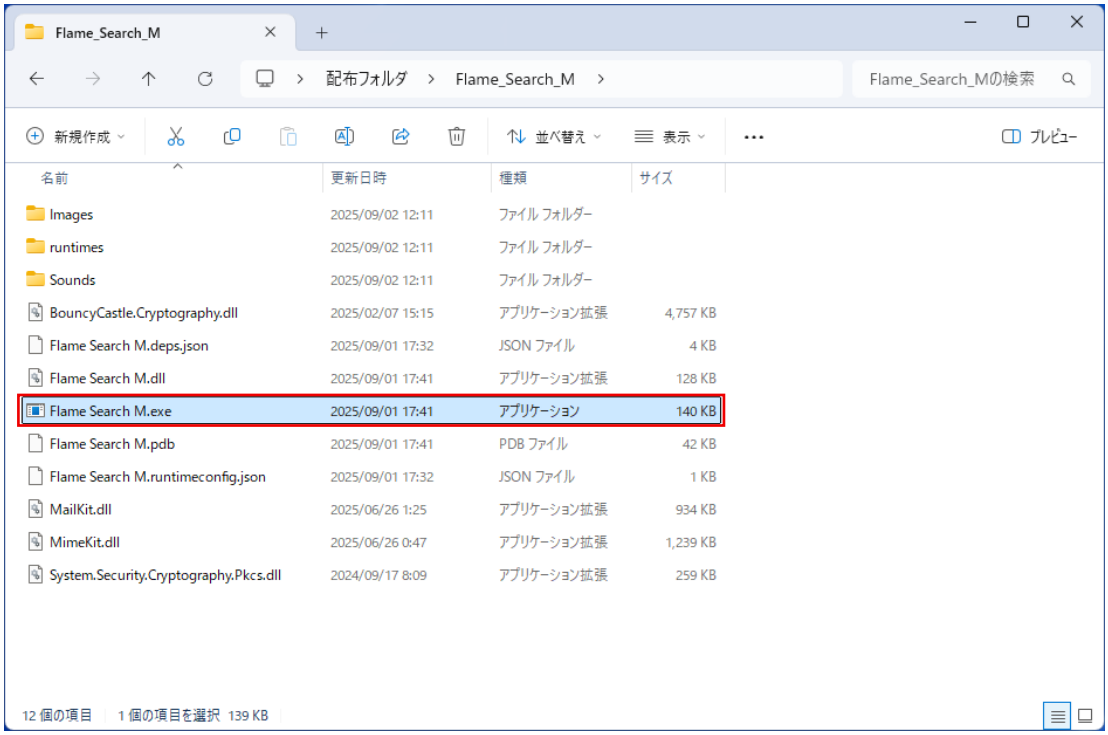
・
・
・



登録が完了したら【Close】をクリックしてください。
以上で IO デバイスの登録は終了です。

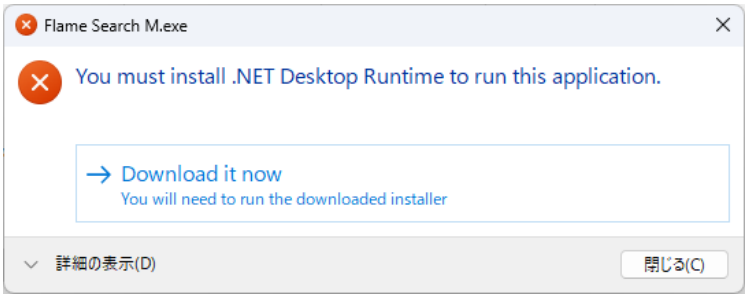
ソフトウェア Flame Search M の初回起動

配布フォルダの Flame Search M 内から【Flame Search M.exe】をダブルクリックしてください。

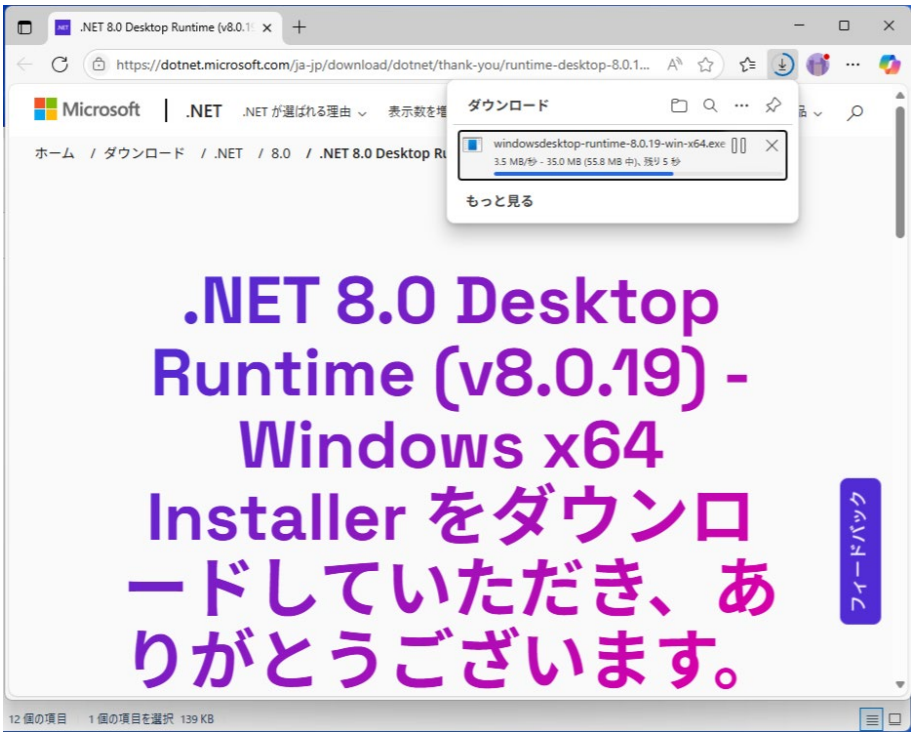


お使いのパソコンに.NET ランタイムがインストールされている場合はソフトウェアが起動します。
.NET ランタイムがインストールされていない場合はウィザードが表示されます。
以降は.NET ランタイムのインストール手順です。
ソフトウェアが起動した場合、以降の手順は省略してください。

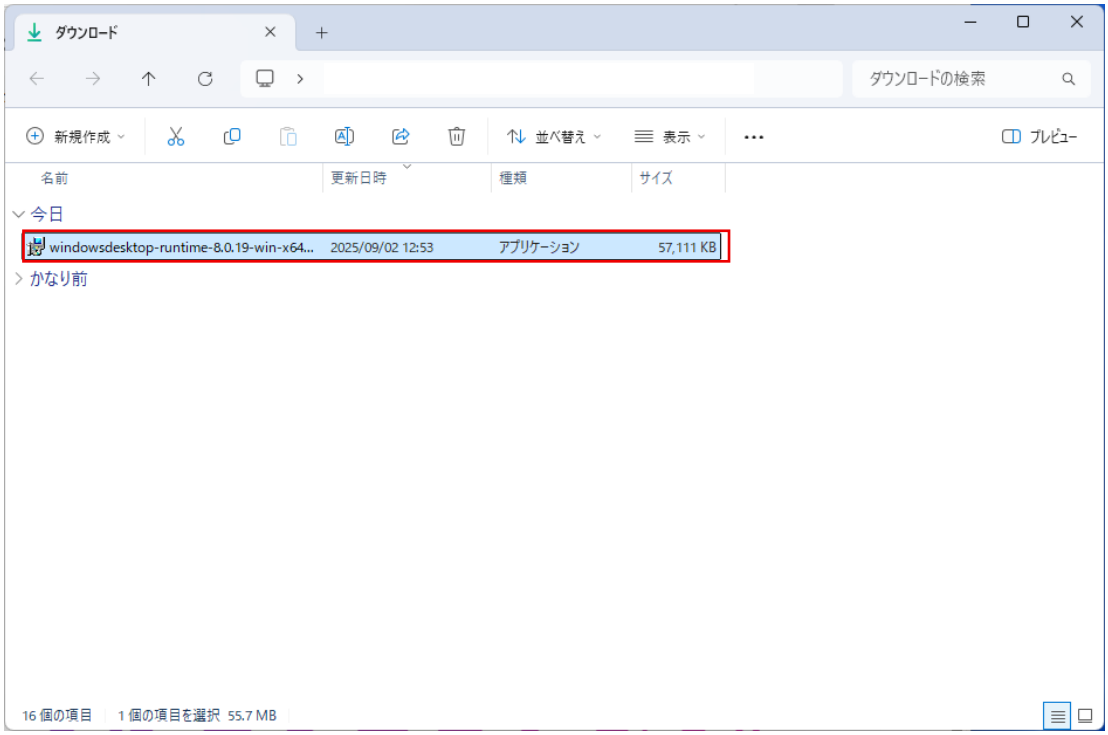
【Download it now】をクリックしてください。



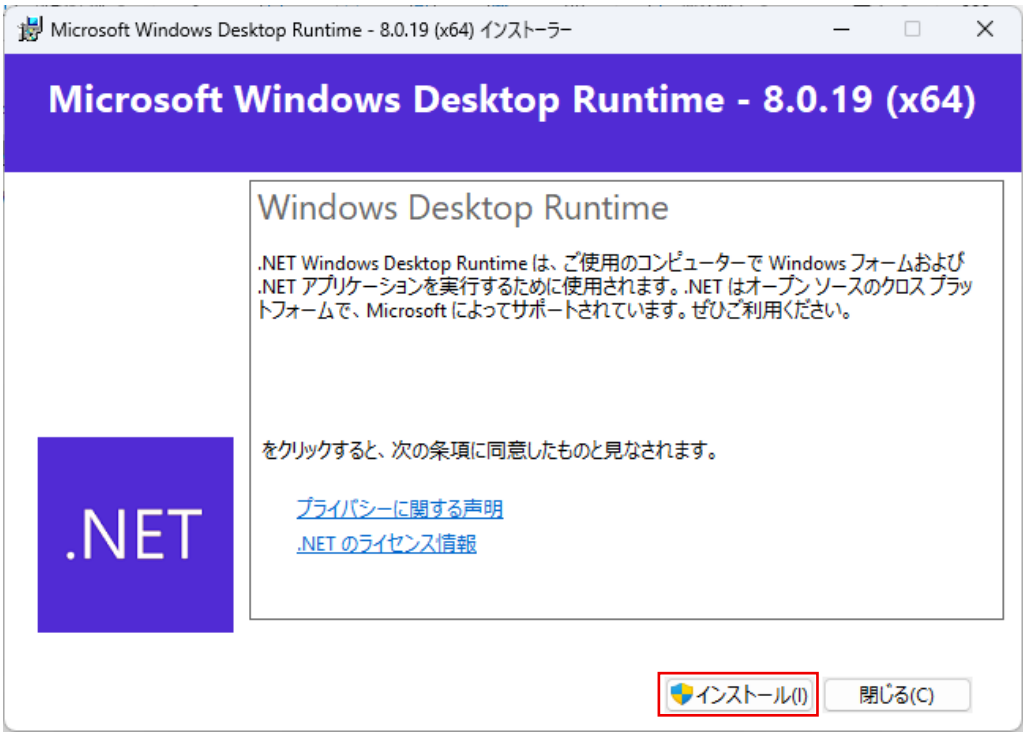
ダウンロードが自動で開始されます。



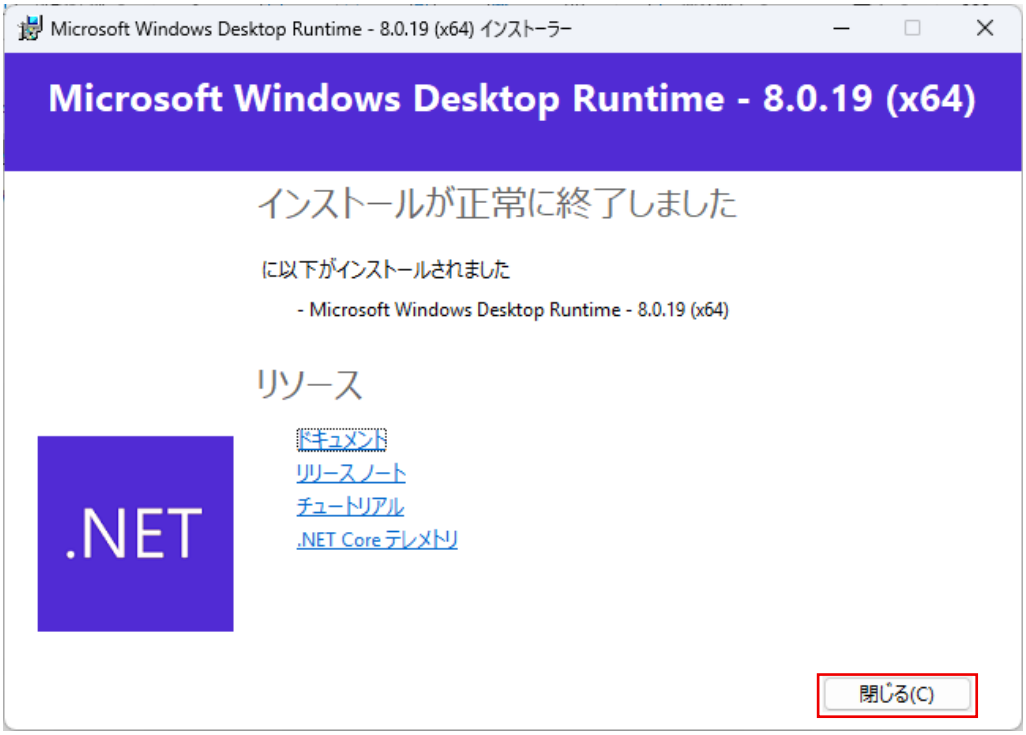
ダウンロードしたアプリケーションをダブルクリックしてください。



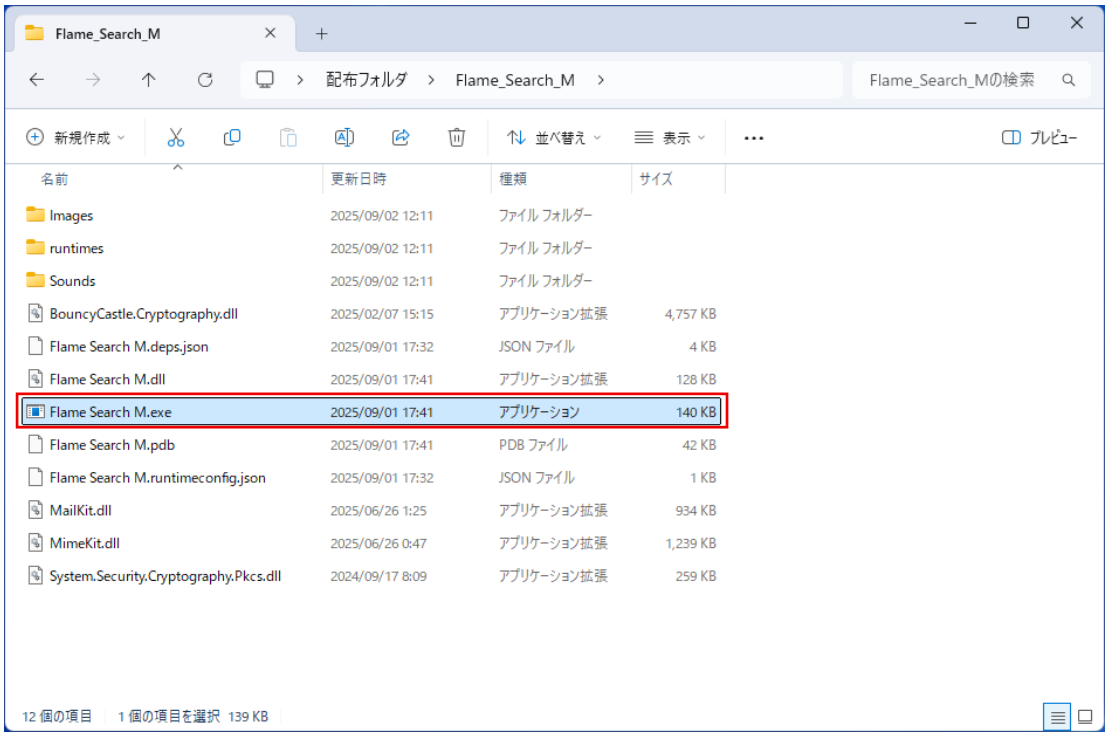
【インストール】をクリックしてください。



インストールが終了したら【閉じる】をクリックしてください。



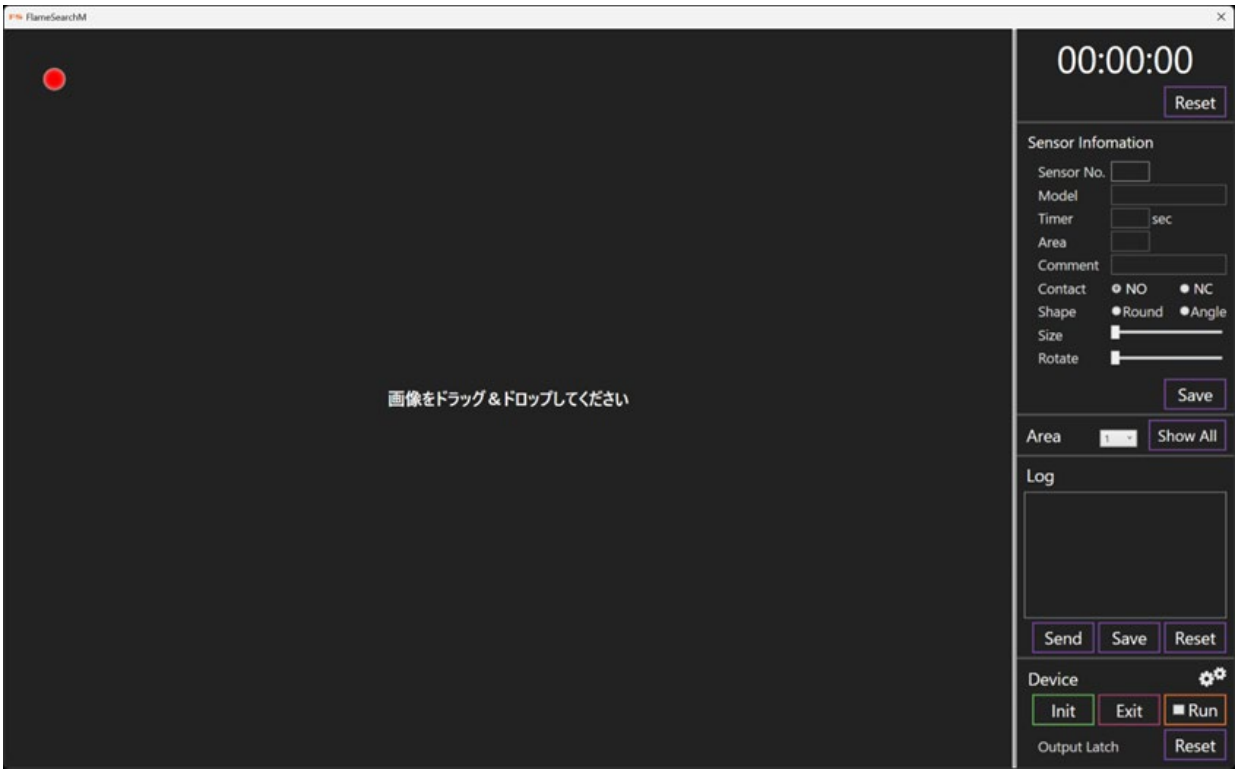
配布フォルダの Flame Search M 内から【Flame Search M.exe】をダブルクリックしてください。



ソフトウェアが起動したら完了です。

ソフトウェアの操作

基本画面

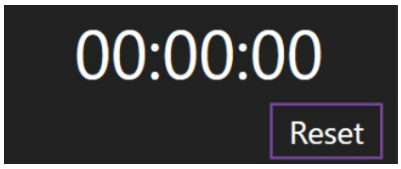


監視パネル　　**操作パネル**

監視パネルに監視エリアの画像、センサーシンボルが表示されます。
監視エリアの画像を追加するにはドラッグ＆ドロップで設定してください。
センサーシンボルをクリックすることで、操作パネルの Sensor Information に登録内容が反映されます。
センサーシンボルの配置はドラッグで移動可能です。

ソフトウェアの画面サイズは固定です。画面サイズを変更するには Windows のディスプレイ設定より拡大/縮小で調整してください。

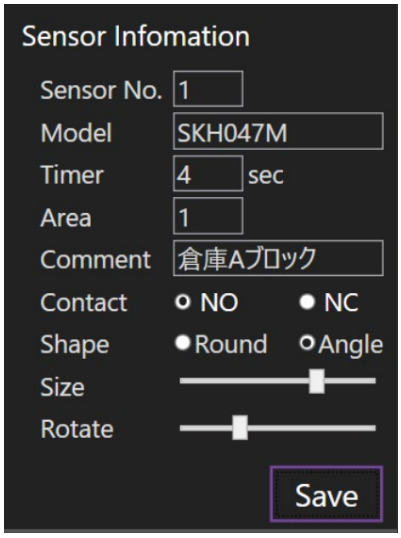
タイマーについて

	センサーの作動と同時にカウントアップが自動で開始します。 タイマーをリセットするには【Reset】をクリックしてください。

センサー情報の登録およびシンボルの設定方法

センサーの情報登録およびシンボルの形、大きさ、角度を設定します。
※センサーの接続台数は【設定画面 一般】から設定します。

設定例）



・**Sensor No.**

登録したいセンサーの番号を入力して **Enter** を押してください。
各項目に登録された情報が反映されます。

・**Model**

センサーの型式を入力してください。

・**Timer**

センサーで設定した検出タイマーの秒数を入力してください。
※センサーには反映されません。

・**Area**

エリア（監視画面）を設定します。
エリアを追加する場合は 2 や 3 などの値を入力してください。

・**Comment**

センサーに対するコメントを入力してください。

・**Contact**

センサーの出力に合わせて、NO（ノーマルオープン）、NC（ノーマルクローズ）を選択してください。

・**Shape**

センサーシンボルの形を変更します。
設置状況に合わせて調整してください。

Round（天井から監視）　　Angle（壁から監視）

・**Size**

センサーシンボルのサイズを変更します。
監視画面や設置状況に合わせて調整してください。

・**Rotate**

センサーシンボルの角度を設定します。
監視画面や設置状況に合わせて調整してください。

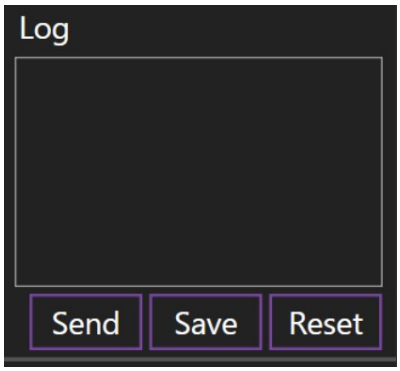
・**Save**

センサーの情報が完了したら【Save】を押してください。
※セーブを実行せず次のセンサーを設定すると以前の入力内容が破棄されます。

エリア表示について

	プルダウンから監視エリアを選択します。 【Show All】をクリックすることで、表示中のエリアに登録されている全てのセンサーシンボルを表示します。

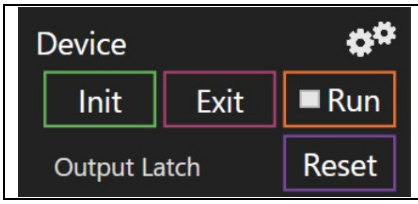
ログについて

	ソフトウェアの変更内容やセンサーの作動状況が記述されます。 【Send】 メールソフトが起動し本文にログの内容が入力されます。 ※宛先は当社に指定されています。 【Save】 ログの内容をテキストファイルで保存します。 【Reset】 ログの内容を消去します。

デバイスの操作

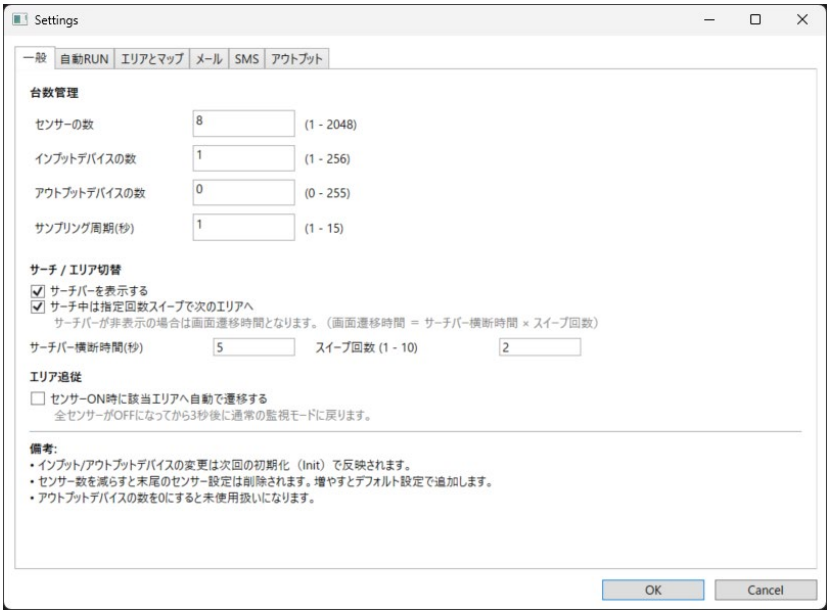
	【Init】 デバイスを初期化します。 Run 開始前に必ず実行してください。 【Exit】 デバイスを終了します。 Run やソフトの終了時に必ず実行してください。 【Run】 センサーの監視を実行します。 【Reset】 デバイス側でアウトプットモジュールを選択している場合は、センサーの入力に合わせてオープンコレクタ出力を ON します。出力をラッチ設定している場合は【Reset】をクリックすることでラッチを解除します。

設定画面



歯車のアイコンをクリックするとソフトウェアの設定画面に移行します。

一般



台数管理

センサーの数　　：接続するセンサーの数を入力してください。

インプットデバイスの数　：インプットとして使用するデバイスの数を入力してください。
SKH1080 では 1 台あたり最大 12 個のデバイスを使用できます。

アウトプットデバイスの数：アウトプットとして使用するデバイスの数を入力してください。
アウトプットを使用しない場合は 0 を入力してください。

サンプリング周期（秒）　：ソフトウェアのサンプリング周期を設定します。
※デバイス数が多い場合はサンプリング速度を早くすると処理が追い付かない可能性があるので、パソコンのスペックに合わせて調整してください。

サーチ / エリア切替

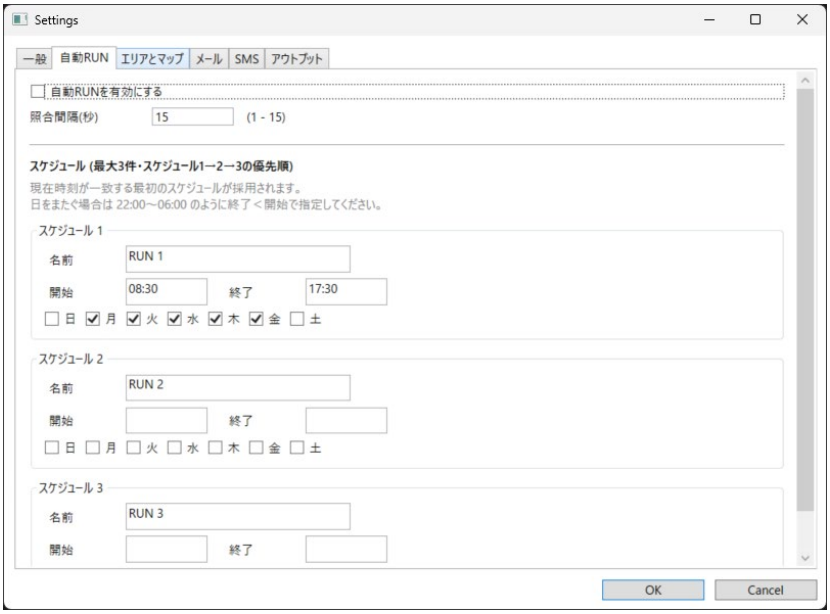
サーチバーの表示や速度、スイープ回数（画面端への到達回数）を設定します。

エリア追従

センサーのエリア設定に合わせて監視エリアが自動で遷移します。

※最後に作動したセンサーのエリアが最優先で表示されます。

自動 RUN



ソフトウェアの自動 RUN を設定します。

【自動 RUN を有効にする】

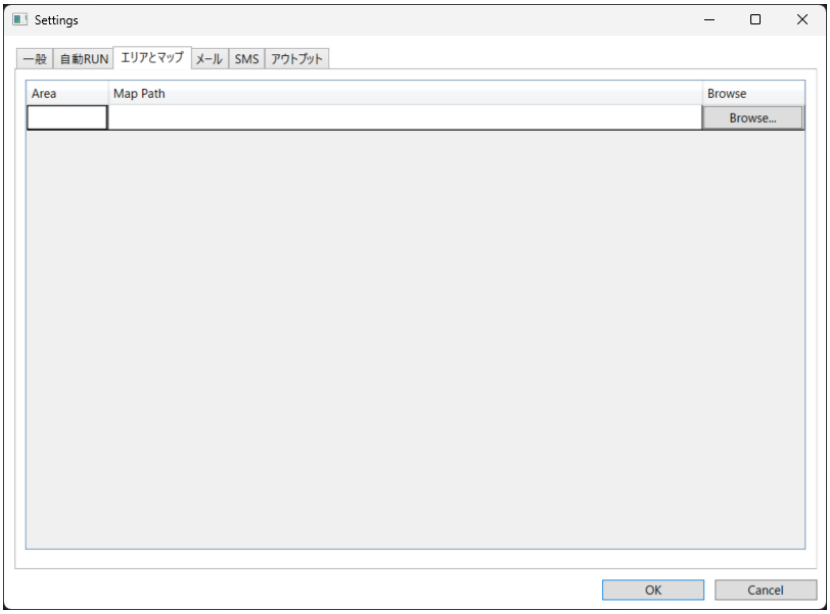
チェックすると下のスケジュールに合わせて自動でセンサーの監視を開始/終了します。

【照合間隔（秒)】

自動 RUN のサンプリングタイミングを指定します。

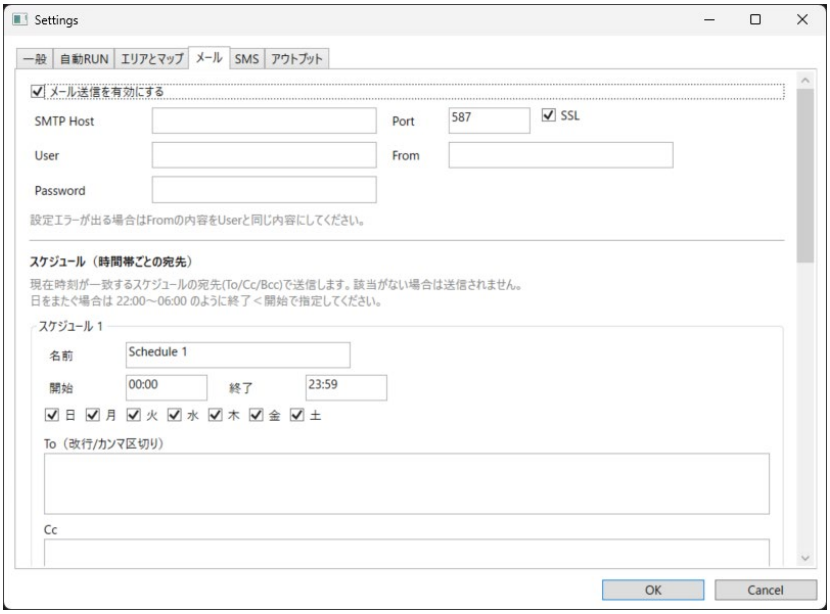
運用状況やパソコンのスペックに合わせて調整してください。

エリアとマップ



監視パネルに表示されているエリア画像のパスを表示します。
Area に番号を入力した後【Browse】ボタンを押すと画像の追加ができます。
画像を削除するには Map Path の値を消去してください。

メール



メール自動送信を設定します

【メール送信を有効にする】

チェックすると下のスケジュールに合わせてメールを送信します。

送信元のアカウント情報を記入してください。

【送信内容】

例）2025/10/01 10:50:30 にセンサーNo.2 が動作した場合

Area：2　Model：SKH047M　Timer：4 秒　Comment：倉庫 A

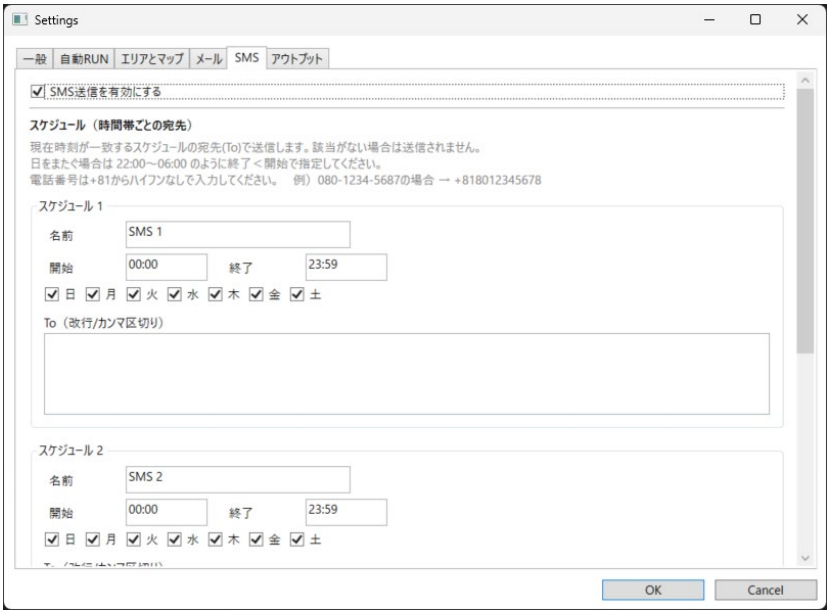
（題名）

センサーが発報しました。

（本文）

2025-10-01 10:50:30　No:2　Area:2　Model:SKH047M　Timer:4　Comment:倉庫 A

SMS



SMS 自動送信を設定します。

【SMS 送信を有効にする】

チェックすると下のスケジュールに合わせて SMS を送信します。

To に送信先の電話番号を**+81 からハイフンなし**で入力してください。

例）080-1234-5687 の場合 → +818012345678

【送信内容】

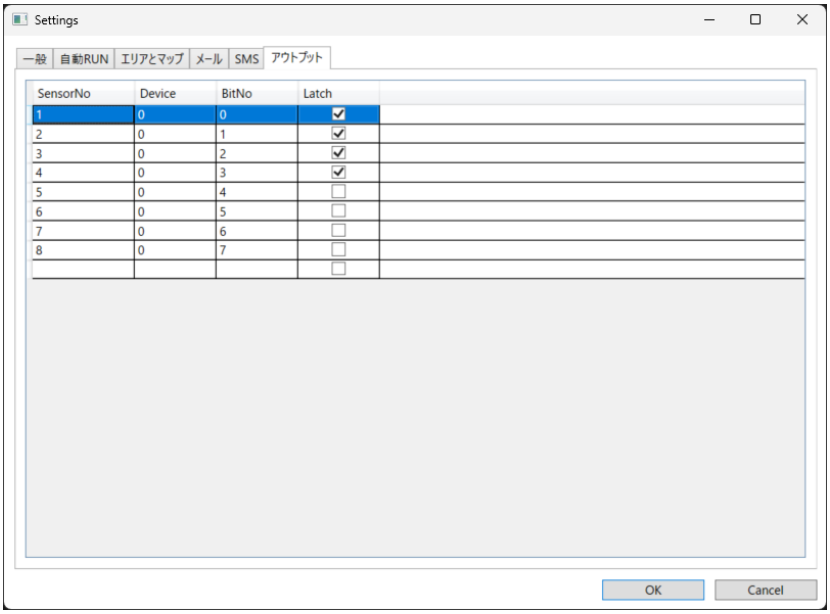
例）2025/10/01 10:50:30 にセンサーNo.2 が動作した場合

Area：2　Model：SKH047M　Timer：4 秒　Comment：倉庫 A

（本文）

2025-10-01 10:50:30　No:2　Area:2　Model:SKH047M　Timer:4　Comment:倉庫 A

アウトプット



デバイスのアウトプットを設定します。

※この設定はアウトプットデバイスを選択した場合のみ有効です。

【SensorNo】

対象のセンサー番号を入力してください。

【Device】

アウトプットのデバイス番号を入力してください。デバイスは 0，1，2 の順で登録されています。

【BitNo】

デバイスのポート番号を入力してください。8 ポートは上から 0，1，2…7 の順です。

上写真はセンサーNo.1～8 をアウトプットデバイス 0 のポート 0～7 に割り振った例です。

センサー1～4 はラッチ（出力保持）に設定されています。

推奨設定

Windows アカウント

Windows 11 Pro ではローカルアカウントでセットアップができます。
特に運用上問題のない場合はローカルアカウントでのセットアップをおすすめします。

電源管理

24 時間運用を想定する場合は、スリープの無効、ドライブの自動 OFF 無効をおすすめします。

セキュリティ管理

必要に応じてセキュリティソフトを使用してください。
セキュリティソフトによりソフトウェアが起動しない場合は、セキュリティ設定を変更してください。

Windows Update の管理

Windows Update により PC が自動で再起動される場合があるため、Windows Update のスケジュール管理を設定してください。

自動再起動の設定

タスクスケジューラーから定期的な自動再起動を設定することでパソコンのフリーズ頻度を軽減することができます。
　　設定例）2 日に 1 回　4:00 に実行

ソフトウェアの自動起動

タスクスケジューラーからソフトウェアをログオン時に自動立ち上げを設定することにより、再起動後も引き続き監視が可能になります。

その他

製品の不具合は購入された代理店または弊社へお問合せください。
製品の仕様は予告なく変更される場合がございます。

株式会社アンテック
https://www.antec-japan.net/